

2007年7月

報道関係各社 御中

社団法人 日本機械学会
広報・情報部会

**日本機械学会および機械系諸団体、8月7日の「機械の日」にあわせて
全国各地でイベント開催**
- 機械の意義・人間と機械との関係を、社会とともに考える -



社団法人日本機械学会は、8月7日の「機械の日」に記念講演会および「機械遺産」認定表彰を開催します。さらに、8月1日～7日の「機械週間」にあわせて、7月から約2ヶ月間にわたり、機械系諸団体とともに北海道から沖縄までの全国各地で70以上のイベントを開催します。(別添パンフレット参照)

「機械の日・機械週間」の制定経緯

日本機械学会は、「機械」の意義や役割を広く社会とともに考え、人間と機械との間のふさわしい関係を模索するため、産官学の関係各方面と協力して、昨年から中暦(月遅れ)の七夕にあたる8月7日を「機械の日」、8月1日～7日を「機械週間」(メカウィーク)として制定し、各種関連イベントを企画・開催しています。

このような機会を通じて、若年層の理工系離れ・技術離れの回避、女性を含めた次世代のイノベティブな技術者育成の支援、さらに国際的な技術学術交流の促進を図りたいと考えています。(別添パンフレット参照)

「機械の日」記念講演会 / 「機械遺産」認定表彰の開催

開催日 2007年8月7日(火) 13:30～17:00

会場 日本教育会館 神田一ツ橋ホール(東京都千代田区一ツ橋2-6-2)

参加費 無料

第1部 記念講演会

- (1) 瀬名秀明(東北大学機械系特任教授、小説家<代表作パラサイト・イヴ/ロボット・オペラ他>)
「旧暦七夕にちなんで贈る、機械と社会の未来の話」
- (2) 高橋真理子(朝日新聞科学エディター)、福山満由美(㈱日立製作所機械研究所第三部 部長)、
山口ひとみ(宇都宮大学工学部 准教授)
「もっと女性を もっと女性に」

第2部 日本機械学会「機械遺産」認定表彰

「機械遺産」認定表彰

日本機械学会は2007年6月に創立110周年を迎えました。その記念事業の一環として、歴史に残る機械技術関連遺産を大切に保存し、文化的遺産として次世代に伝えることを目的に、日本国内の機械技術面で歴史的意義のある「機械遺産」(Mechanical Engineering Heritage)を認定することとし、会員から推薦された多数の候補について選定・評価を行いました。

今般、本会は「機械遺産」25件を選定し、上記記念講演会と併せて認定表彰を行います。これらは、Site(機械遺産のある歴史的な風景)とLandmark(機械を含む象徴的な建造物・構造物)が各1件、Collection(保存・収集された機械)が21件、そしてDocuments(記録に残る機械関連文書類)が2件となっています。(別添一覧および下記ホームページ参照)

<http://www.jsme.or.jp/kikaiisan/>

「機械の日・機械週間」関連イベントの開催

日本機械学会は、多くの団体による協賛を得て、全国各地で機械に関連する様々な分野のイベントを開催します。開催期間である7月からの約2ヶ月間は小中高生の夏休み期間にあたるため、小中高生向けのイベントを中心に企画がされています。なかでも、展示会「日本の先端科学技術の紹介」や「2007サイエンススクエアおもしろメカニカルワールド」のように、国立科学博物館にて長期的(7月31日(火)~8月12日(日))に開催されるイベントも企画されています。(別添パンフレット参照)

「機械の日・機械週間」作文コンテストの開催(ジュニア会友対象)

日本機械学会は、機械工学に興味を持つ方ならどなたにでもお申込頂ける会友制度を設けています。なかでも、16才未満の方を対象としたジュニア会友には、対象行事の案内や身近な機械の仕組みを分かりやすく解説した連載記事等を掲載したジュニア会友ニュースの送付・体験学習の場の提供などを行っています。

今般、ジュニア会友の方を対象に「機械」をテーマとした作文コンテストを行い、優れた作文を書いた方を8月7日開催の「機械の日」記念講演会会場にて表彰します。

「機械の日・機械週間」に関するホームページ

<http://www.jsme.or.jp/kikainohi/>

【本件に関する問い合わせ先】

〒160-0016 東京都新宿区信濃町35番地 信濃町煉瓦館5階
社団法人 日本機械学会
会員・情報管理グループ 野口明生
電話：(03) 5360-3503、FAX：(03) 5360-3508
E-mail：noguchi@jsme.or.jp

